

市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	ハイブリッド外側閉鎖式高位脛骨骨切り術の術前後における Quality of Life の推移と関連する因子の検討 —日本版変形性膝関節症患者機能評価尺度を用いた後ろ向き研究—
当院の研究責任者	所 属：リハビリテーション室 責任者：吉川 卓志
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	ハイブリッド外側閉鎖式高位脛骨骨切り術の Quality of Life の推移と各時期における関連する因子を検討する。
調査データの該当期間	2018年1月1日～2020年3月31日
本研究の対象及び方法 (使用する試料等)	<p>1. 対象者</p> <p>(1)ハイブリッド外側閉鎖式高位脛骨骨切り術施行目的で入院した変形性膝関節症患者</p> <p>(2)本研究の参加について同意の得られた症例</p> <p>以上2項目を全て満たす場合を選択基準とし、対象とする。</p> <p>・除外基準(以下の5項目の何れかに該当する場合)</p> <p>(1) 同意の得られなかった者</p> <p>(2) 大腿骨内顆骨壊死</p> <p>(3) 入院や転居などにより当院通院が困難となった者</p> <p>(4) 術後に腓骨神経麻痺、骨折が生じた者</p> <p>(5) 既往に脳血管疾患や骨関節疾患があり、明らかな歩行障害を有する者</p> <p>2. 方法</p> <p>・運動機能として、膝関節可動域、膝関節筋力、10m歩行速度、TUGを測定した。</p> <p>・QOL評価は、自記式調査票のJKOMを使用し、設問25項目の合計点と各下位尺度とした。</p> <p>・精神的心理的要因の評価として、日本語版 Pain Catastrophizing Scaleを使用した。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・カルテ情報から、重症度の評価（Kellgren-Lawrence grade）、大腿脛骨角、背景因子（年齢、性別、BMI、OA以外の併存疾患の有無）、手術関連情報（手術時間、出血量）、理学療法の実施時間、日数を抽出した。 ・術前から術後5ヶ月のJKOMの推移を比較した。 <p>次に術後1, 3, 5ヶ月時のQOLに関連する因子について検討した。</p>
<p>試料・情報の 他の機関への提供</p>	なし
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>本研究で得られる情報は、外付けハードディスクに管理され、特定の人のみ出入りする部屋で、鍵のかかったロッカーに入れ保管する。また、外付けハードディスクには主研究者しか分からないパスワードを設定し、ID番号を入れ替え個人が同定できないように配慮する。結果の解析、公表に際しても個人が特定できないようにする。また本研究により取り扱う個人情報は、法律に基づき本研究遂行の目的以外には使用されない。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>TEL : 0742-24-1251 担当者：リハビリテーション室 吉川 卓志</p>
<p>備考</p>	